

災害に備えて

災害時、頼りになるのが確かな情報と心構え。危機意識を高めて、いざというときのために備えよう。最新の防災の話題をピックアップした。

TOPICS 1

5月1日 北上川の洪水情報を緊急速報メールで配信

近年、記録的な豪雨による大規模な水害や土砂災害が頻発しています。こうした災害に備えて、携帯電話やスマートフォンに北上川に洪水情報を配信します。

細は岩手河川国道事務所のホームページ(<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>)を確認できます。

◇配信開始日：5月1日①

① 岩手河川国道事務所 ☎019・624・3131



◇配信エリア：一関市、平泉町、奥州市、金ケ崎町、北上市、花巻市、紫波町、矢巾町、盛岡市 *配信エリア近郊の人にも届くことがあります

Point! 緊急速報メール

気象庁が配信する「緊急地震速報」や自治体からの「災害・避難情報」などを携帯電話各社が携帯端末へ発信するサービス。(例：ドコモ「エリアメール」)

緊急速報メールだけじゃない あなたの命を守るための情報源

防災行政無線

市内に355基ある防災行政無線(屋外スピーカー)からは、緊急情報や行政情報を市内全域や地域ごとに放送している。

FMあすも専用ラジオ

平常時は身近な地域情報を発信し、災害時は臨時番組で関連情報を伝える。避難勧告など、人命にかかわる緊急の情報は自動起動して発信する。

TOPICS 2

「防災フォーラム」で防災への意識新たに

「防災フォーラム」(一関市、防災サポートいちのせき共催)は3月12日に川崎市民センターで行われました。約200人が防災の専門家の講演とアイオン台風の被災者の体験談を聞き、防災への意識を新たにしました。

同日フォーラムは、市が2012年に制定した「となりきんじょ防災会議の日」となりきんじょ防災会議の日に合わせて毎年開催。家族や住民同士で災害に備えて話し合う機会とすることを目的に開かれています。基調講演を行ったのは岩手大農学部教授の井良沢道也教授。日頃から危機意識を持つことやコミュニティ単位で防災に取り組むことを提案しました。

1948年9月のアイオン台風による洪水で家ごと流され、宮城県登米市で住民に救出されたエピソードを語ったのは宮前町の千葉貞子さん。自身の経験を基に作った紙芝居を披露しながら「どんなときでも、生きたいという気持ちを持ち続けることが大事」と話し、命の尊さを訴えました。

聴講した川崎町門崎の千葉文江さん(47)は「少しでも被害を減らすために、日頃から防災について意識していました」。



Voice
岩手大学 農学部森林科学科 砂防学研究室
井良沢道也 教授

地域での防災活動が大切

一関市は県内でも比較的災害が多い地域。ハザードマップの作成、「となりきんじょ防災会議の日」の制定など先進的な取り組みを行っています。ハザードマップを生かして、避難訓練などを積極的に行うといいと思います。

災害は忘れたころにやってきます。災害について忘れないことが一番の防災。地域コミュニティ単位での防災が大切です。



防災フォーラムで専門家から危機意識の大切さを学ぶ

TOPICS 3

災害時の避難情報の名称が変更

昨年の台風10号による災害では「避難準備情報」の意味が正しく理解されていなかったことが問題になりました。国による検討が行われ、右のように災害時の避難情報の名称の一部が変わりました。

今後、市はこの新たな名称で避難情報を発信します。

☎消防本部防災課 ☎5913

避難準備情報

緊急度 **低**
① 避難準備
高齢者等避難開始

- 必要な行動**
- 高齢者の人や体が不自由な人など、避難に時間のかかる人は避難を始めてください。
 - それ以外の人は、避難の準備を行ってください。不安を感じる場合は自主的に避難を始めてください。

避難勧告

(名称変更なし)
② 避難勧告

- 必要な行動**
- 災害による被害が予想される状況です。対象地区の全ての人は、すみやかに避難を始めてください。
 - 避難場所への避難が難しい状況であれば、屋内の高い場所など安全な場所に避難してください。

避難指示

緊急度 **高**
③ 避難指示 (緊急)

- 必要な行動**
- 災害による危険が非常に高まった状況です。対象地区の全ての人は、緊急に避難してください。
 - 避難場所への避難が難しい状況であれば、屋内の高い場所など安全な場所に緊急に避難してください。